

「新都市再生ビジョンに係る施策・事業の緊急対応方針」への対応について

市では、昨今の物価高騰や人材不足、これらに起因する公共事業の入札不調などの社会経済情勢を踏まえ、「新都市再生ビジョンに係る施策・事業の緊急対応方針」をまとめました。

同方針では、整備の全体像を想定しつつも、必要最小限の整備内容を厳選とともに時期を慎重に検討し、現在の社会経済情勢の中で実現可能なプランへと転換すること、また、その後の整備等については、市民ニーズや財政状況等を勘案し、段階的な整備等を検討することとしています。

これに伴い、国立天文台周辺地域土地利用整備計画については、策定スケジュール等の見直しを検討します。

あわせて、同整備計画と連動しながら策定することとしていた「国立天文台周辺地域まちづくりにおける義務教育学校に関する基本方針」についても、策定スケジュールの見直しを検討します。

なお、緊急対応方針を踏まえた国立天文台周辺地域土地利用整備計画では、本検討委員会で取りまとめた「配置の考え方」を基に具体的な配置案※を検討していきます。

※土地の範囲等により変更の可能性があります。